

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ラ・ポール		公表日		令和7年 5月30日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		7		・法定で定められた基準人員を配置している ・現在、6人の常勤スタッフを配置		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	4	・支援室をメインルーム（工作などの制作活動等）とプレイルーム（体を動かす等）に分け、活動内容で分けている	・現在、バリアフリー化はできていないので今後、必要に応じて設置を検討する	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		・毎日、清掃を行い清潔を保っている ・子どもたちが行いたい活動に合わせ、内外の活動環境を整えている		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	1	・活動によって部屋を分け、環境を整えたり、児童からの訴えでパーティションを使ったりして空間をセパレートしたり、工夫している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7			・現場の意見を取り入れて改善を図る必要がある為、MTGにて課題をあげてもらい取り組んでもらっている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7			・今回が初めての評価になるので保護者様からの意見に対してMTGをもち、真摯に対応していきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		・朝、夕のMTG、必要に応じたMTGを行っている	・今後は定期的に業務改善MTGを設定し、改善に努める
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			7		・去年、開所したばかりなので現在は第三者評価を行っていない ・今後、検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7		・業務に関する研修を数回行ったが今後も継続して増やしていきたい	・外部の研修も積極的に取り入れていきたい
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7		・事業所内にて精査し、HPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7		・アセスメント、モニタリング、送迎時に情報交換を行い計画に反映させている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		・朝、夕のMTGや現場での状況を加味し、お互いの見解をシステム共有欄に記入し、全員が書き込み、見ることができるようにしている	・今後は定期的に支援MTGを設定できるよう検討する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7		・システムを活用し、いつでも閲覧できるようにしている ・スタッフ間で情報共有を密に行い、児童にあった支援を行っている	・今後は定期的に支援MTGを設定できるよう検討する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		・現在は自事業所の個別支援計画書やアセスメントシートを活用し、評価、確認を行っている	・現在はバイナランドやSM社会生活等の活用は行っていないが将来的には導入していきたいように検討したい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7		・個別支援計画書にてそれぞれの項目を設定し、支援を行っている	・地域支援、地域連携については今後の課題でもあり地域にねざした支援を模索していきたい（地域での催し物への参加等）
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	3	・午前中のMTGで話し合っ決めて	・現在、定期的なMTGの開催を行っておらず日々のMTGでの話し合いなので今後は定期的なMTGを設定したい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5	2	・本事業所は基本、児童が活動内容を決めているので日々内容が変わるが同じ活動が続かないように気を付けている	・こだわりが強い児童は同じ活動が続くことが多いので備りが出ないように他の活動への促しを行っていく

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個人活動も集団活動も基本は児童の「自己決定」を大切にしている	・現在は個別、集団活動ともにバランスよく行えるようになってきているが今後もステップアップが必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・朝のMTGにて1日の流れ、支援について共有している	・役割分担の部分が弱いため、MTG等で検討していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・送迎後にその日にあった気になる事、児童の様子、ヒヤリハット等の共有を話し、内容をシステムに打ち込み次の日の朝のMTGにて再度、共有、検討している	・抜け、漏れがないようにホワイトボード等にも記入して情報共有を更に密にする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・システムを導入し、MTGにて出た内容を必ず記録するようにしている。 ・記録内容を朝のMTGにて再検討している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的にモニタリングを行い保護者様からの意見、スタッフの意見等を集約して計画内容の変更、継続を判断し、見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		・右記以外については児童の特性に合わせた支援を行えるように職員間で朝のMTG等で行っている	・現在、地域交流の機会については行っていない状況ですが今後はできるように検討していきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・児童がその日にしたいことを自分で決めることができる環境を提供している	・やりたい活動が偏らないように支援を行うよう気をつける
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・基本、児童発達支援管理責任者が会議に参加。現状、その他のスタッフは参加せず全体聞き取り、支援MTG内で情報共有して会議に参加している	・今後は状況によっては現場職員の帯同を検討していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・担当者会議や部会、お迎え時に情報の共有を行っている	・今後も他連携機関と協力体制を密にできるように働きかけていきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・基本は保護者との連絡を密にすることで行っているが不測の出来事等が出てきた場合は連絡、調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・事業所間でのやりとりは行えている	・今後も情報共有、相互理解に取り組んでいく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		・現在、事例はないが卒業後も継続支援できるようにしたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		・現在は行えてないが機会があれば活用していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		・現在、行えてないが今後は交流する機会を検討したい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			・最近、部会が発足したので今後も参加していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時に今日あったこと、最近の家での様子を口頭にて情報交換している。 ・保護者とのやりとりをシステム内でも行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・ベアトレ等の話しは行えていないが児童の特性に応じた対応の仕方を送迎時などに段階を踏んで行うように声掛けしている	・現在、研修や情報提供はおこなえていないので今後、機会があれば検討していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時にきちんと説明を行っている ・後日に疑問が出た時は気軽にご連絡頂くよう促している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・アセスメント、モニタリング、送迎時に情報交換を行いサービス提供および作成に意向を反映させるように心がけている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・契約時にきちんと説明を行っている ・後日に疑問が出た時は気軽にご連絡頂くよう促している	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・現在は送迎時やモニタリング時にお話を聞いてアドバイスしている	・今後は家族連携加算も含めてサービス提供できるように検討していきたい

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		・次期から保護者会もしくは交流会を催せるように検討していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・運営規定にも記載し周知している。もし訴えがあった場合は迅速に対応できるように努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・日々の活動をHP上に掲載している。連絡体制についてはシステムを導入して個別対応している。	・会報等は発行していないが今後、検討していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・PC、記憶媒体等を施設外に持ち出さないように留意している ・利用児童及び保護者の情報に関する取り扱いを気をつけている（口外しない等）	・今後も更に強化していきたい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童の送迎時のやりとり、システムなどを利用してその日にあったことや困りごとなどの共有ができるような体制を整えている	・今後も利用者様に寄り添った支援を提供できるように更なる向上に努める
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・	・現在、ほとんど行っていない状況なので次期においては地域との連携が図れるように検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルの策定を行いHP上に掲載し、訓練も数回行っているが家族への周知が行われていないので行った際にはお伝えする。	・今後はHP上にて実施実態を掲載し、情報発信していけるように検討していきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	・BCPの策定を行い、施設内での周知、研修を行いシミュレーションを行っている。 ・HPにも内容を掲載している	・児童が実際にいるときにいけるように検討していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時のアセスメント時に状況確認を行っている	・今後も定期的に確認していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・契約時のアセスメント時に状況確認を行っている（現在は指示書まである児童はいない）	・今後はアレルギー対応には細心の注意を払っていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画を作成し、HPへ掲載。研修にてシミュレーションを行い、支援に臨んでいる	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・安全計画を作成し、HPへ掲載している。	・HPへ掲載しているがその取り組みについて家族への周知がなされていないので今後は情報発信まで行い家族への周知に努めたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット報告書を作成し、記録として残し、再発防止に向けてMTGを行い、必要に応じて研修も行っている	・継続して再発防止に努める
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・県の虐待研修への参加、その他の研修への参加を通じて事業所内でMTGや研修を行い、対応に努めている	・継続して虐待防止に努める
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・契約時に保護者への説明を行い、書面にて確認している ・事業所でも研修を行い、どの状況が身体拘束になるかを周知している	・身体拘束を理解するための研修参加、情報の周知を今後も継続していく	